

湊線 市民協働から延伸へ

～地域鉄道活性化の先行事例として～

令和6年7月25日

ひたちなか海浜鉄道株式会社

基礎情報

- 2008年4月1日営業引継ぎ
株主はひたちなか市（約51%）、茨城交通（約49%）
- 茨城県ひたちなか市内だけを走る「第三セクター」
- 勝田～阿字ヶ浦間（14.3km 合計11駅）を約28分で結ぶ
- 運行本数 1日34往復
（約40分間隔）
- 朝5時から
深夜24時まで



おらが湊鐵道応援団（市民）の主な活動

- ① 那珂湊駅の応援団サービスステーションの運営と観光案内
- ② 沿線の商店・飲食店・宿泊施設等と連携した「乗車特典サービス」の実施
- ③ 沿線でのアートイベントの開催
例：MMM（みなとメディアミュージアム）…大学生と地元が一体化
- ④ 沿線自治会等による各駅の清掃や樹木や草花の植栽・除草作業の実施
- ⑤ 沿線神社等の協力を得て元旦早朝の初詣・初日の出列車運行
- ⑥ 応援団情報「おらが湊鐵道応援団報」編集と発行

→ 自治会通じて市内回覧



勝田 T A M A R I B A 横丁との連携

年4回のまちづくりイベントに
開業記念イベント連携 同日開催

会場で延伸寄付ミニ新幹線乗車体験

日本輸送サービス労組出店ブース
にスタンプラリーポイント

第53回勝田 T A M A R I B A 横丁 MAP

勝田 T A M A R I B A 横丁

① CRAFT・WS・TOY
② COMPANY
③ FOOD-KITCHENCAR

MAIN STAGE

- 10:00- 日なかりめろ
- 10:35- エリーダンス
- 11:10- 0 to r
- 11:45- Orita Rie モデルプロダクション
- 12:20- Mahana Tahiti
- 12:55- ひまわりクラブ
- 14:05- Krara Belly Dance
- 14:40- Mikko Sun

SAB STAGE

ミニ新幹線

みちあそび

鉄道模型展示

次回開催 6/11

TAMARIYA SOCIAL DISTANCE

J A、J Fとの連携 にぎわう駅ホーム朝市



那珂湊高校生発案

ひたちなか市非公認キャラクター「みなとちゃん」



鉄道と地域の活性化のお手伝い

他地域も巻き込んだ観光誘致施策



ホーム> 営業案内> 交通アクセス：電車でお越しの方

交通アクセス：電車でお越しの方

■ 所在地

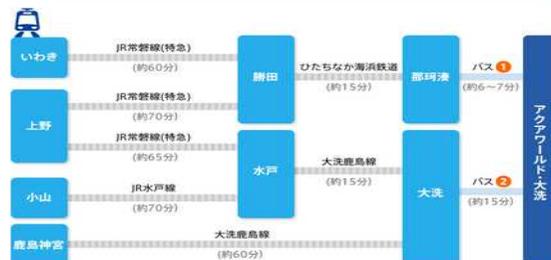
〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町8252-3
Tel: (代) 029-267-5151 Fax: 029-267-5920

■ 最寄り駅

ひたちなか海浜鉄道 湊線 那珂湊駅
鹿島臨海鉄道 大洗鹿島線 大洗駅

■ 電車の場合の経路

震災の影響により運転本数、所要時間の変更や運休している場合がございます。
予めご了承ください。



※所要時間はあくまで目安です。状況により到着が遅れる場合があります。
お出かけの際は余裕を持ってご利用ください。
※タクシーを利用される場合は那珂湊駅から約5分、大洗駅から約8分となります。
*近隣タクシー連絡先はこちら



アクアワールド大洗のwebサイト

「交通アクセス」の項目に、ひたちなか海浜鉄道を
利用したルートが明記されている

アクアワールド大洗へのグループ

多い日には40人以上が利用

鐵道神社、ほしいも神社（連携と協働）



まちづくり団体のアイデア



令和2年 浜出神社とほしいも神社 例大祭

商工会議所のアイデア

みなとメディアミュージアム 駅名標



- 2015年 グッドデザイン賞受賞
- 中学校1年生 美術テキストで紹介



- 三鉄ものがたり
茨城県商店街活性化コンペ最優秀賞（2015,16年2年連続）
国土交通省まちづくりアワード表彰（2023年）
- みなとメディアミュージアム
駅名標 グッドデザイン賞（2015年）
- ローカル鉄道・地域づくり大学
グッドデザイン賞（2017年）
- おらが湊鉄道応援団
総務大臣表彰（2011年）
いばらきイメージアップ大賞(2011年)
国土交通大臣表彰（2017年）
地域再生大賞優秀賞（2019年）

- 市広報誌等での露出
イベント、年間定期券の告知など
- 市関係機関との橋渡し
教育委員会を通して、各学校へ年間定期
チラシ配布、合格者説明会出席など
- 鉄道をアイテムとしたまちづくり
- 湊線派遣職員の広域への配置
観光関係、交通関係等へ

- ・ **安全施設 設備投資（鉄道施設総合安全対策事業費補助金）**

国1/3 茨城県1/3 ひたちなか市1/3

車両の更新、全般検査、その他安全施設への投資

- ・ **固定資産税分補助（上下分離の考えを適用）**

ひたちなか市 固定資産税支払額内で赤字補助

- ・ **修繕費補助（上下分離の考えを適用）**

開業8年目まで、県・市が修繕費範囲内で赤字分を折半して補助

（みなし上下分離型）

小中統合校と駅新設（行政主導）

沿線5小中学校統合 →
新設小中一貫校は沿線に駅新設

- ・ スクールバスに比べ財政負担極小
バスチャーター試算1億円超
→ 鉄道通学定期補助800万円

年間輸送人員100万人回復
令和5年度は116万人（開業以来最高）

- J R 東日本
週末パスで湊線利用可に。
1枚20円だが、月収入の数パーセント
茨城DCを軸に密接に連携（特急にチラシ、共同宣伝）
- 大手旅行者
ツアー誘致、共同での観光開発（ほしいも列車）
= 既存観光拠点再生・高付加価値化（観光庁）
- 国営ひたち海浜公園
入園券付き乗車券発売、最盛期にシャトルバス運行
- まちづくり団体
法と公序良俗に反しなければ、連携。（MMM、三鉄）
- 交通環境整備ネットワーク
産（鉄道事業者）官（OB）学がゆるやかに連携

加えて観光誘致（潜在需要開拓）

- ・ 国営ひたち海浜公園へのアクセス改善

海浜公園入園券付き 1日乗り放題乗車券発売

最盛期（ネモフィラ・コキアシーズン）にシャトルバス

- 予想を大きく超える利用 = 延伸計画持ち上がる
- その3割がおさかな市場へ = 地域活性化

平成29年度決算（開業10年）

年間輸送人員 100万人
(1,000,980人)

単年度収支 黒字
(2万5千円)

達成

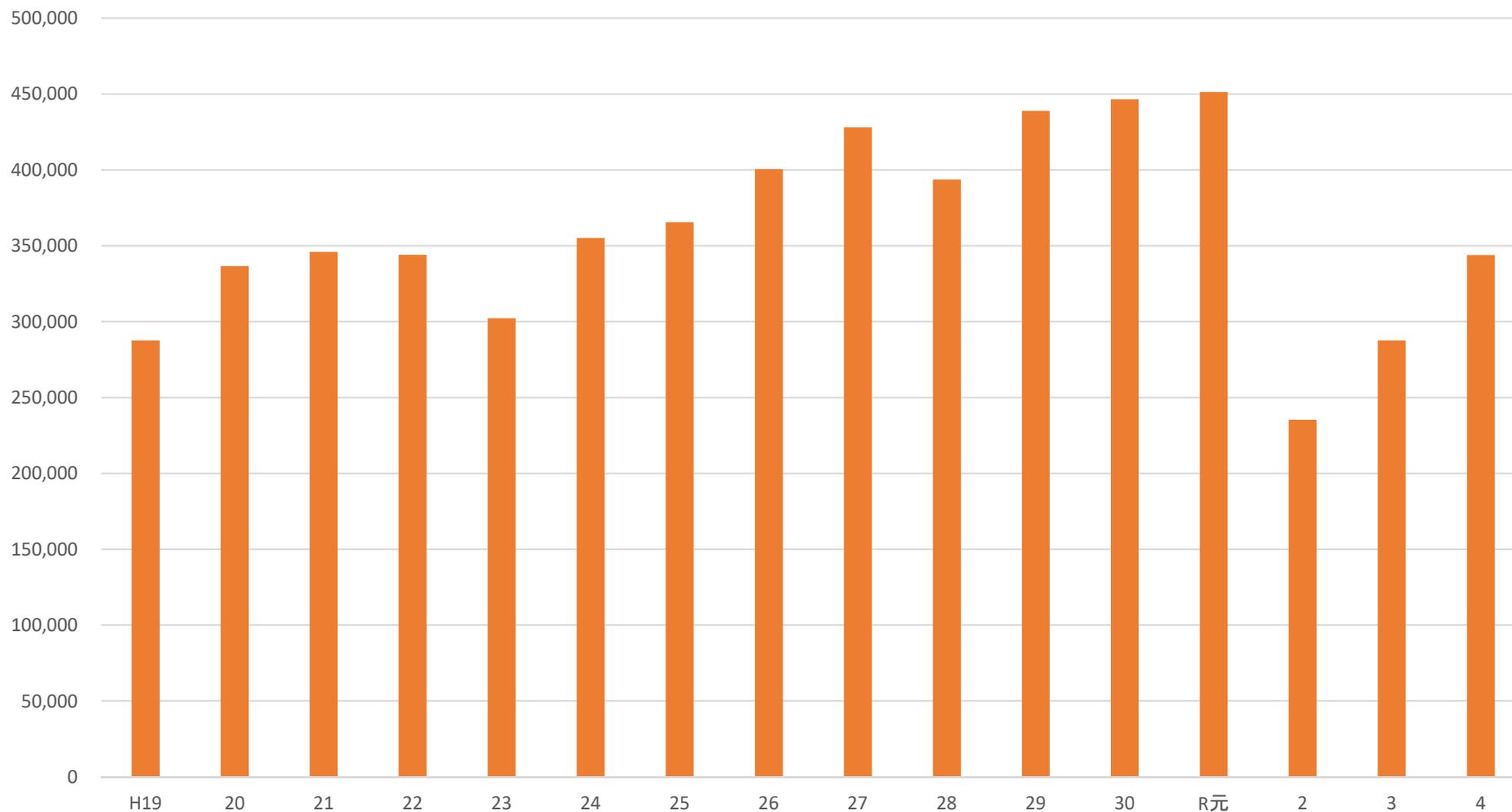
令和元年度、黒字幅広がるも

令和2年度 コロナ禍により危険水域

定期外利用者の推移



定期外旅客
輸送人員



深刻な交通渋滞は潜在需要



←異常な交通渋滞を



潜在需要に ↓



守りから攻めへ 国営ひたち海浜公園への延伸

第1期工事 約1.4 km (まず、南口まで)

20万人 (公園来場者の10%) 利用増だけで
= 20万人 × 1000円 = 2億円 (鉄道増収)

うち3割が沿線で買い物 & 食事 = 経済効果大

企業の進出決定 = 通勤旅客も視野 (渋滞対策)

阿字ヶ浦地区区画整理 = 普段使いの需要も

→ まちづくりと連携し社会資本整備総合交付金適用?